

# 目標3 すべての人に健康と福祉を 2022.8

展示している本の一部を紹介します

## シエラレオネー5歳まで生きられない子どもたちー 山本敏晴／著・写真 アートン

アフリカにあるシエラレオネ共和国。戦争や内戦により医療サービスは壊滅。5歳の誕生日を迎える前に3人にひとりの子どもの死んでしまいます。

## 保健師の一日(医療・福祉の仕事見る知るシリーズ 10代の君の「知りたい」に答えます)

WILLこども知育研究所／編著 保育社

赤ちゃんから高齢者まで、あらゆる人びとの健康と生活を支える保健師の仕事を紹介します。

## 世界一やさしい依存症入門ーやめられないのは誰かのせい?ー(14歳の世渡り術)

松本俊彦／著 河出書房新社

モノや行為への依存。ささいなことがきっかけで、誰にでも起こりうる依存症を、中学生の体験記を軸に分かりやすく説明しています。

## 14歳からの精神医学ー心の病気ってなんだろうー 新版 宮田雄吾／著 日本評論社

摂食障害、社交不安症、強迫症、うつ病、統合失調症…。もし自分が、友達が、親が心の病気になったら? エピソードから心の病気のことや向き合い方がわかります。

## パンデミック・プラネットー感染症が地球に与える影響 大流行をとめるためにできることー(児童図書館・絵本の部屋)

アンナ・クレイボーン／作 大山泉／訳 評論社

2019年に始まった新型コロナウイルス感染症は急速に世界中に広がり、死者は600万人を超えました。その現状やパンデミックとは何なのか? など数々の疑問に答えています。また、画期的な新ワクチン開発から個人の予防法まで身を守る方法も探していきます。

## こうつうあんぜんどうするの?(やさしくわかるぼうさい・ぼうはんのえほん)

せままさゆき／絵 国崎信江／監修 WILLこども知育研究所／編著 金の星社

初歩的な交通ルールを小さい子どもでもわかりやすい内容でおしえてくれる絵本。読んであげるなら幼児から。

## ねこの小児科医ローベルト 木地雅映子／作 五十嵐大介／絵 偕成社

2歳のユウくんが感染性胃腸炎になりました。日本の子どもにとって、それほど怖い病気ではないかもしれませんが、まずしい国では、この病気でたくさんのお子さんたちが命をおとしているのです。夜間救急専門のねこのお医者さんの不思議なおはなし。

## 火星のライオン ジェニファー・L.ホルム／作 もりうちすみこ／訳 ほるぷ出版

2091年、火星の入植地で感染症が蔓延。抗ウイルス薬をのせた補給船の到着は8か月後。規則をやぶって他国の入植地へ助けを求めにいったばくは…。

さいたま市立北浦和図書館 (さいたま市浦和区北浦和1-4-2)

電話 048-832-2321 FAX 048-832-2324

さいたま市図書館ホームページ

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

